2010年11月24日 ご参考資料

楽読（ラクヨミ）Vol.320

Raku Yomi

楽読（ラクヨミ）

資源国通貨の特徴的な動き

nikko am fund academy

商品価格などの上昇を背景に、近年、資源国通貨が注目されています。資源国通貨とは、オーストラリア・ドル、ブラジル・レアル、南アフリカ・ランドなど、主要輸出品目が第一次産品であり、経済自体が、商品価格の変動の影響を受けやすい国の通貨です。
そのため、資源国通貨の動きも商品相場にある程度連動する傾向があるといえます。

例えば、ブラジル・レアルと商品価格の推移（図1）からも、そうした傾向を見ることができます。

図1 ブラジル・レアル（対円）と商品価格

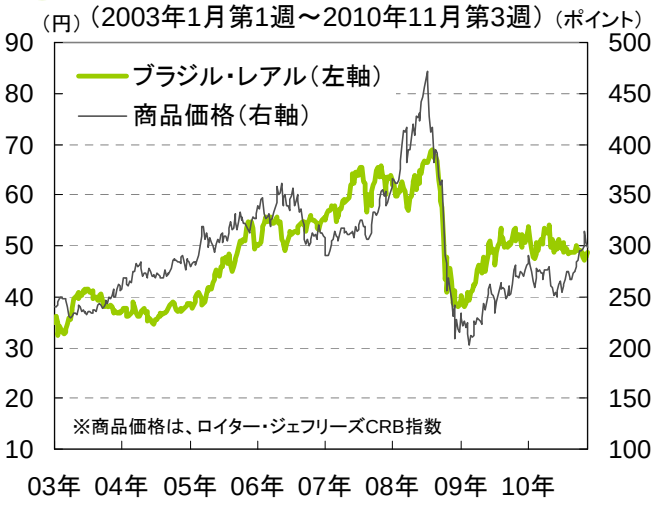
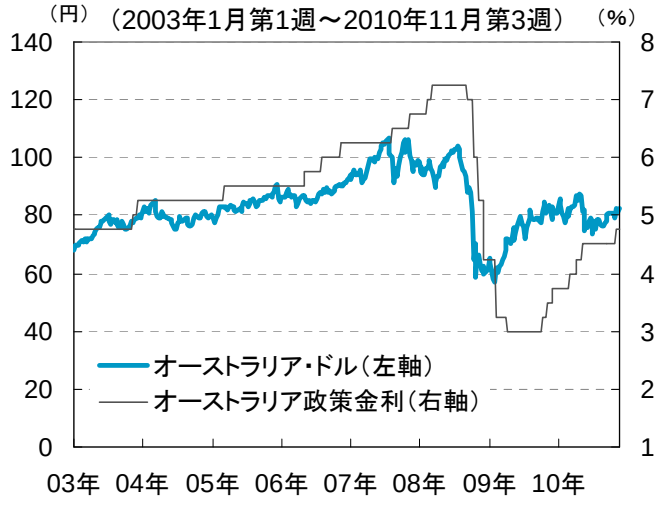


図2 オーストラリア・ドル（対円）と政策金利



一方、世界経済や金融市場が不安定になってくると、商品価格が軟調に推移しやすいことや、リスクを取って金利差を狙う取引が敬遠される傾向にあることから、資源国通貨は売られやすくなります。特に、流通規模が相対的に小さい通貨は、そうした影響を受けやすく、通貨が大きく変動しやすいといえます（図3）。

商品価格の動きと相俟って、資源国通貨はそれぞれに関連した動きをしているものの、その他の要因にも影響を受けています。そのため、そうした要因を踏まえ、様々な視点で通貨の動きを見ておく必要がありそうです。

また、資源国では、商品価格の上昇などによって国内のインフレ率が高く、金利も上昇しやすいことから高金利の国が多くなっています。資源国における政策金利の引上げによって、海外から資金が流入しやすく、通貨を支える要因となっています。

特に、オーストラリアにおいては、通貨と政策金利に似通った動きが見られています（図2）。

図3 南アフリカ・ランド（対円）とVIX指数

■上記は、資源国通貨の特徴の一例を示したものです。（信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成）
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。